

講義名	対)スポーツ科学演習 B（ゴルフ）			
担当教員	越智 祐光			
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	演習	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考
主題と概要				
ゴルフは、年齢・性別を問わず、生涯にわたって楽しむことができるスポーツである。また、プレイヤー自身がジャッジするスポーツであり、周囲への気遣いも求められるスポーツでもあることから、人格形成にすばらしい影響を与えることができると考えられる。本授業では、ゴルフの基礎的な技術の習得と同時に、ルール、マナー、歴史など、ゴルフの知的文化的な部分も学習する。また、ゴルフを通じた受講生間のコミュニケーションやプレーから、人間形成に役立たせることを目的とする。				
到達目標				
1．「健康」獲得の方法を修得できるようになる。 2．歴史やルール、応用技術・基本戦術を理解し、説明できるようになる。 3．応用技術・基本戦術を修得し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。 *オンデマンドでの受講では、以上の到達目標を達成することが難しい。このため、対面授業とする。 ただし、新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生については、その期間のみ課題学習などによって対応する。				
提出課題				
中間期のレポート 期末期のレポート レポート課題は授業で提示する				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
受講者は授業中にスマートフォンを利用し、スイングの動画撮影を行います。 授業計画の後半では、自分のスイングを確認することによって、内的フィードバックを促進します。				
評価の基準				
授業実施時間数の4回以上欠席した者は単位を認定しない。 授業中の評価：受講態度・実技点など.....60% 中間期の評価：レポート課題.....10% 期末期の評価：レポート提出.....10% 新型コロナウイルス感染予防対策として、全ての授業がオンラインに変更された場合については、その時に詳細を伝える				
履修にあたっての注意・助言他				
初心者向けの授業となっています。 ゴルフ用手袋を、各自必ず用意すること(右打ちの場合は左手、左打ち場合は右手側のみで良い)。 フィードバックの効果を高めるため、スイングの動画撮影を行います。動画撮影に対応したICT端末を持参してください。 天候や状況によって授業計画を変更する場合があります。				

教科書

プリント資料及び参考文献				
適宜、プリントを配布する。				

授業計画

1

オリエンテーション

本授業の目的、進行、評価について

2

用具の説明と使用

3

エテケット、マナー、ルールについて

4

ショットの基本

グリップ、スタンスと姿勢

5

ショットの基本

クロスハンドでのアプローチ練習

6

アイアンの基本

グリップ、スタンスと姿勢、スイング、ボールの位置

7

アイアンの基本

ウェッジ、ショートアイアンについての説明と練習

8

アイアンの基本

ミドル・ロングアイアンについての説明と練習

9

ウッドの基本

グリップ、スタンスと姿勢、スイング、ボールの位置

10

ウッドの基本

各種ウッドを使用しての練習

11

ショット練習

ボールの位置と視点

12

ショット練習

方向性とスタンス

13

ショット練習

各種アイアンと反復練習

14

各種クラブを使用してのショット練習

15

各種クラブを使用してのショット練習

新型コロナウイルスの影響により、シラバスを変更する場合があります。
また、科目についても柔軟に目的から内容を変更する場合があります。
新型コロナウイルスの状況により、接触の恐れのある練習内容については実施できないこともある。
その場合については、到達目標を優先するため内容を変更することがある。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

☐	A：PBL（課題解決型学習）		☐	I：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	U：ディスカッション、ディベート			E：グループワーク
	O：プレゼンテーション	☐		K：実習、フィールドワーク
	K：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習...スイングにおける技術や理論について、書籍、動画を透じて知識を蓄えておくと良い(60分)。
復習...スイングの練習は、ある程度必要となる。(120分)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目を受講し、目標を達成することで、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力の5項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。
集団や個人でスポーツ実践に取り組む中で、明るく元気で、どのような場所でも物怖じすることなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜く力、つまり「ネアカ、のびのび、へこたれず」の性格を育むことができる。また、問題点やその要因を発見し、自らが進んで取り組めるようになる。そして、他者に働きかけ、協力して課題へ取り組むことにより、円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。
生涯にわたってスポーツと関わりたり、健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て、理解することができる。
以上は、全学部・学科の所属学生へ共通している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

ICT端末を利用してスイング動画を共有することがあります。
学生間で互いの技術課題の解決方法を考察します。
本科目については対面授業のため、実技を中心とした授業展開となる。」ただし、「新型コロナ感染予防対策として、全ての授業がオンラインに変更された場合については、オンラインによって授業を実施することになるので留意すること。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
日本ゴルフ学会近畿支部会研修会での経験をもとに、技術指導を行いたい。

備考